まちの話題

原口泉先生の講演

劇団ぷえん「くもの糸」

総合文化祭

「枕崎市民歌」大合唱

「文化のまち枕崎」が躍動した3日間

～市文化協会創立40周年

▼市内52の文化団体でつくる枕崎市文化協会が今年で創立40周年を迎え、記念事業が11月1日から3日間の日程で行われました。

▼1日には市民会館で記念式典が行われ、市の文化振興に貢献された21名、11団体の方々の表彰が行われたほか、40年を振り返るビデオも上映されました。また、鹿児島大学教授・原口泉先生による「篤姫の世界」と題した講演が行われ、ドラマ『篤姫』の舞台裏の話を通して、「大事なのは身近な先人たちが築いた文化を見つめ直すこと」と鹿児島の魅力を語られました。

▼2日には南溟館で「市民の夕べ」が開催され、劇団「ぷえん」のメンバーによる朗読劇や地元バンドによるコンサート、踊りなどが披露されたほか、市内小学校児童による『10年後の枕崎』を描いた絵画も展示されました。

　また、フィナーレには、来年の市制60周年に向けて、今一度「市民歌」を普及させようと、枕崎中、別府中の吹奏楽部の演奏に合わせて大合唱が行われました。

▼3日には市民会館で総合文化祭が行われ、40団体の参加者が日ごろの成果を披露しました。

おいしいリーフ茶を味わって

～別府小学校でお茶の入れ方教室

■県茶業会議所では今年度から、緑茶にもっと親しみをもっておいしいリーフ茶を飲んでもらうために、11月23日を「お茶一杯の日」と制定しました。これに合わせ、別府小学校で11月21日に「お茶の入れ方教室」が行われ、同小の6年生児童がお茶の入れ方を学びました。

　JA南さつまの営農指導員で日本茶アドバイザーの吉村貴仁さんの指導のもと、児童たちは自分たちでお茶の入れ方を実践。児童たちは、「これからは、最後の一滴まで注いで、おいしいお茶を飲みたい」、「有数のお茶の名産地の市民だから、おいしいお茶を入れられるようになりたい」などと話していました。

「枕崎」装束で最高位木村庄之助を目指して

～山﨑敏廣さん式守伊之助昇進記念祝賀パーティー

■本市出身で大相撲行司の山﨑敏廣さんが、立行司第38代式守伊之助に昇進したことを祝う祝賀会が11月1日、地場センターで行われ、市内各界から約270名もの人たちが出席しました。

　山﨑さんがまとっている装束には「枕崎」の文字をかたどった金の紋様が入っており、これは出席者などの寄付であつらえたもの。あいさつで「ここまでこれたのも皆さんの温かい叱咤激励のおかげ。この地位に甘んじることなく、行司の『東の正横綱』である木村庄之助を見据えながら頑張っていきたい」と力強く述べられ、会場から大きな拍手が送られました。

硫黄岳

ストラップ作り

ジャンベ演奏

東温泉

硫黄島で「みしま」に乗り込む

村営船「みしま」で硫黄島を満喫

～硫黄島冒険ツアー

▼三島村新交通ネットワーク協議会では、来年2月にかけて村営船「みしま」を枕崎漁港へ寄港させる試験運航を実施しています。市では、歴史的にも繋がりの深い三島村との交流促進や地域の活性化を目指し、11月23日から硫黄島への冒険ツアーを実施しました。

▼参加者22名を乗せた「みしま」は、約4時間かけて硫黄島に到着。横断幕を掲げた村民に歓迎を受け、宿泊場所となる「冒険ランドいおうじま」へ向かいました。

　入村式の後、史跡や景勝地を巡り、爽やかな汗をかきながら硫黄島を散策。東温泉では、足の疲れを取るために足湯に浸かり、恋人岬公園では硫黄島を眼下にみる景色に感嘆の声が上がりました。

　また、ジャンベ体験、ストラップ作りも行われ、村民との交流を楽しみました。

▼参加した東順也君（別府中2年）は、「硫黄島は意外と広かった。新鮮な魚、温泉が豊富で過ごしやすい島だ」と話し、大人の方々からも「ぜひ枕崎就航を実現して、多くの方々に三島村の魅力をわかってほしい」という声が聞かれるなど、参加者たちはたいへん満足した様子でした。

五感を使ってリンゴを描いた

～金山小学校で「心と体が目ざめるアート教室」

■金山小学校で11月6日、平成20年度地域協働の仕組みづくり事業として、臨床美術を取り入れた「アート教室」が同小の全児童を対象に実施されました。

　子どもたちは、リンゴをモチーフに、匂いをかいだり触ったり食べてみたりするなど、五感を使って自分だけのリンゴを描き、普段体験することのないモノの見方や考え方、描き方に楽しくいきいきと取り組んでいました。

　この臨床美術は楽しい創作活動を通じた右脳活性化によって、認知症の改善や子どもたちの豊かな感性を育む目的で実施しています。＜関連記事8ページ＞

本物の舞台芸術を身近に感じた

～桜山中学校で「劇団道化」の公演

■桜山中学校体育館で10月27日、「文化庁本物の舞台芸術体験事業」として、福岡県太宰府市の「劇団道化」による演劇「知覧・青春」～アイ・アム・ヒア！～が上演されました。これは、人間の素晴らしさ、戦争の悲しさをテーマにした演劇で、7月には、今回の舞台に向けての劇団員による実演指導や体験型講座が実施されており、生徒たちにとって楽しく感動的な演劇鑑賞になりました。

　劇の途中、生徒6人と職員1人の出演もあり、本物の舞台芸術に触れる大変貴重な時間となりました。